

活ママの 教えてください？

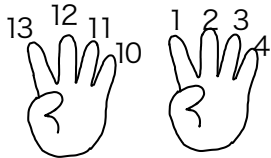
*教えてくれるのは、川上塾長



13	-	4	=	10	✓
15	-	7	=	9	✓
11	-	3	=	9	✓
14	-	7	=	8	✓
18	-	9	=	10	✓

活ママ「どうしたらいいんでしょう。うちの子（一年生）が0点をとってきたんです。」
塾長「どれどれ、このテストですかあ。ああ、活ママ、心配ご無用。むしろ大チャンス！
ねえ、あおいちゃん、ちょっと13、4をしてみてください」

あおい「13、4は4ひくだから、



をひくので、
で10になります。

塾長「やっぱりね。」

あおいちゃんは、ひく1の指のとき13と言っています。4ひくことを「かぞえひき」でしっかり考えて計算しています。

くり上がりのたし算では、さくらんぼ計算という計算の仕方を学びます。ただしその前段階で、8、9、10、11、というように「かぞえたし」もていねいに教えてもらうので、比較的つまずきは少ないです。

その次の、くり下がりのあるひき算では、さくらんぼ計算がわかっているものとして取り扱われることが多いです。しかも逆唱経験は順唱経験に比べ少ないのでつまずきやすくなります。

でもこのつまずきは貴重な経験。0、1、2、3と唱えてしまっていることを1、2、3、4に直すように、12、11、10、9と逆唱経験を積むといいでしょう。「ちかみちよりもまわりみち」、この経験によって数のしくみが一段高いところから見えることでしょう。」



*教えてくれるのは、
しょうぶくていきょうじやく
笑福亭喬若さん



活ママ「四月の寄席、とても楽しみにしています。落語教室のこともたちにも指導していただけるそうで。」
喬若「ふつうのおつちゃんですから私、「尊敬するように」とか「言葉に気をつけて」とかはいらないです。なーなーおつちゃん、で大丈夫です。萎縮すると、こどもたちが聞いてみたいことが聞けなくなりますので。ネタにもなりますし、よろしくお願いします。😊」
ママ「そもそも落語家になられたきっかけはなんだったんです？」
喬若「桂枝雀師匠の「住吉かご」を聞いてです。マクラの中、小咄で、

「電車ができたときは、電車がいばつた。

『君らは人に引かれたり馬に引かれなさいと進めないやないか、わしや自分で走れるんや』

言うてたら自動車が出て、

『電車君、君は線路しいてあるところしか行

けないやないか。ぼくはどこでも行けるぞ』

それを聞いた電車が、

『今までいばつていたぶん恥ずかしい。穴があつたら入りたい』

言うて地下鉄ができた。」

ママ「小咄一つが一生を変えることもある。」

喬若「先日ある中学で私への質問の8割が

『どうして落語家になられたんですか』でした。コロナ禍で暇でしたし、その質問に生徒全員100%返事を出しました。落語が好きだから、落語を聞いて好きになった、一度だけしかない人生だから、勉強きらいやつたから、などなど100%、頭おかしくなりまして、40通くらいからでしょうか。記憶がなくなりました。見返してみると、返信の6割が「女の子にチャホヤされたいから」になっていました。寂しがり屋なのかもしれませんね。」

(次号に続く)

活ママの 教えてください？

*教えてくれるのは、川上塾長



$13 - 4 = 10$	✓
$15 - 7 = 9$	✓
$11 - 3 = 9$	✓
$14 - 7 = 8$	✓
$18 - 9 = 10$	✓

活ママ「どうしたらいいんでしょう。うちの
子（一年生）が0点をとってきたんです。」
塾長「どれどれ、このテストですかあ。ああ、
活ママ、心配ご無用。むしろ大チャンス！
ねえ、あおいちゃん、ちょっと13、4をし
てみて」

あおい「13、4は4ひくだから、



をひくので、

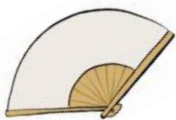


で10になります。

塾長「やっぱりね。」

あおいちゃんは、ひく1の指のとき13と
言っています。4ひくことを「かぞえひき」で
しっかり考えて計算しています。
くり上がりのたし算では、さくらんぼ計算
という計算の仕方を学びます。ただしその前
段階で、8、9、10、11、というように「か
ぞえたし」もていねいに教えてもらうので、
比較的つまずきは少ないです。
その次の、くり下がりのあるひき算では、
さくらんぼ計算がわかっているものとして取
り扱われることが多いです。しかも逆唱経験
は順唱経験に比べ少ないのでつまずきやす
くなります。

でもこのつまずきは貴重な経験。0、1、
2、3と唱えてしまっていることを1、2、
3、4に直すように、12、11、10、9と逆唱
経験を積むといいでしょう。「ちかみちよりも
まわりみち」、この経験によって数のしくみ
が一段高いところから見えることでしょう。」



*教えてくれるのは、
しやうぶくていきやうじやく
笑福亭 喬若さん



活ママ「四月の寄席、とても楽しみにしてい
ます。落語教室のこともたちにも指導してい
ただけるそうで。」
喬若「ふつうのおつちゃんですから私、「尊敬
するように」とか「言葉に気をつけて」とかは
いらないます。なーなーおつちゃん、で大丈夫
です。萎縮すると、こどもたちが聞いてみたい
ことが聞けなくなりますので。ネタにもなりま
すし、よろしくお願いします。😊」
ママ「そもそも落語家になられたきっかけは
なんだつたんです？」
喬若「桂枝雀師匠の「住吉かご」を聞いてで
す。マクラの中、小咄で、
「電車ができたときは、電車がいばつた。
『君らは人に引かれたり馬に引かれないう進
めないやないか、わしや自分で走れるんや』
言うてたら自動車できて、
『電車君、君は線路しいてあるところしか行

けないやないか。ぼくはどこでも行けるぞ』
それを聞いた電車が、
『今までいばつていたぶん恥ずかしい。穴が
あつたら入りたい』
言うて地下鉄ができた。」

ママ「小咄一つが一生を変えることもある。」
喬若「先日ある中学で私への質問の8割が
『どうして落語家になられたんですか』でし
た。コロナ禍で暇でしたし、その質問に生徒
全員126通返事を出しました。落語が好きだか
ら、落語を聞いて好きになった、一度だけし
かない人生だから、勉強きらいやつたから、
などなど126通、頭おかしくなりまして、40通
くらいからでしょうか。記憶がなくなりまし
た。見返してみると、返信の6割が「女の子
にチャホヤされたいから」になつていまし
た。寂しがり屋なのかもしれませぬね。」

(次号に続く)